

## 平成30年度版 改善計画

学校名：山梨県立富士見支援学校

No.	項目	現状と課題	H31年度に目指すべき状態	①H30年度に実施する内容 ②H31年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	1週間に2回以上の割合で会議が設定されているので回数を減らしたい。	回数やメンバー、運営の見直しが行なわれた状態。	①会議の精選を図り、原則月2回の定時退庁日（きずなの日）を設定する。 また勤務時間数調べを通して勤務実態の把握に努める。 ②会議の廃止や統合、回数、運営について効率化に向けた検討会議を実施する。	A
2	学校行事の負担軽減	学校行事は適切な形、回数が実施されていると考えられるが、さらなる効率化に向けた取組もあると思われる。	すべての学校行事についてPDCAサイクルのもと負担軽減を考慮した状態で実施されている。	①学校行事に関して、必ず行事の直後にアンケートを実施し、内容の見直しや精選ができるかどうか検討する。 ②年間行事の廃止や統合、回数、運営について効率化に向けた検討会議を実施する。	B
3	校内組織の見直し	すでにいくつかの委員会を廃止するなど見直しを図ってきたが、十数人しかいない職場での校内組織の編成はこれでなければといったものはなく、毎年実情に応じた編成をしている。	委員会組織の見直しがなされ、適切な委員会運営になっている。	①委員会組織の業務内容の見直しを行い、業務の明文化を徹底する。 ②統廃合を検討し、効率化を図る。	B
4	業務の効率化	小規模校のため一人あたりの業務量が多い。学校全体で業務軽減に取り組む必要がある。	職員の平均退校時間が今より早くなっている。	①学校全体で協力できるところは協力することで業務の効率化を図る。 ②ITやICT、Excel等の活用により、業務の効率化、軽減化を図る。	B
5	部活動の負担軽減	部活動は実施していません。			
6	地域人材の活用	生き生き教育地域人材活用推進事業で年間2回地域の人材を有効活用している。	様々な形で生徒との関わりが持てる状態。	①現状通り ②多忙化改善に向けての取組はありません。	B

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。